

Fresh! Water

Aqua Totto News No.11

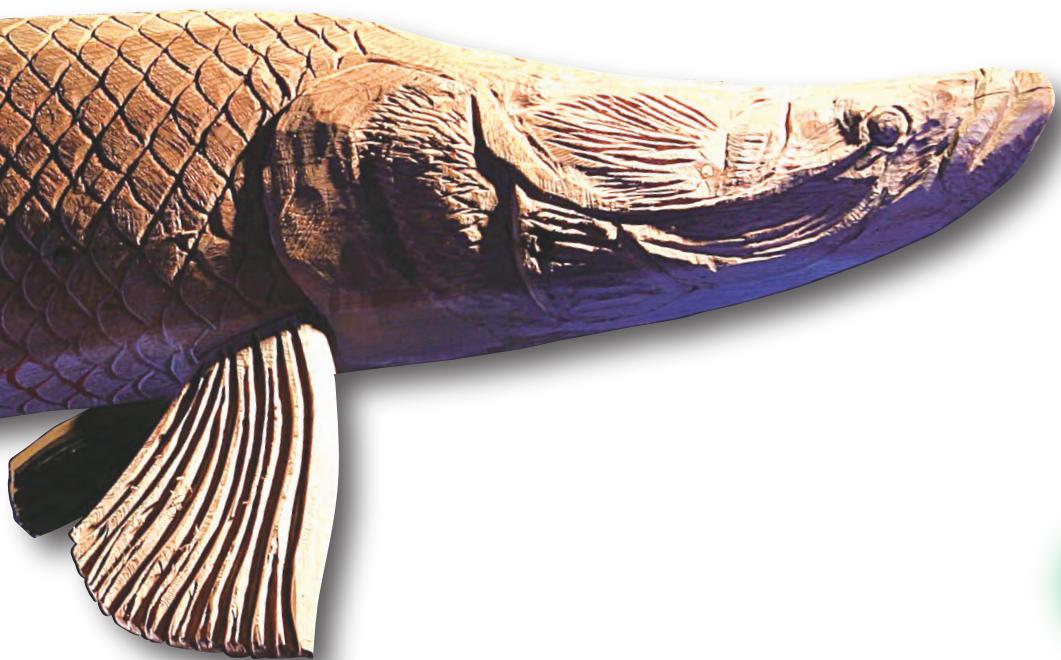
1P》第30回 全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～に向けて

2P》伝行事復活!!中池・池干し

3P》アクア・トト ぎふ スタッフ飼育日記 飼育なるほど豆知識/お目覚めハイギョ

4P》木曽川ワンド便り Vol.5 / 環境学習プログラム

5P》企画展レポート 6P》INFORMATION





第30回 全国豊かな海づくり大会 ～ぎふ長良川大会～にむけて

今年は、記念すべき第30回の
「全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」が
岐阜県にて開催されます。

「全国豊かな海づくり大会」は、
水産資源の維持培養と、それらの生物がすむ海や湖沼、河川の環境保全に対する意識の向上を目的とし、
天皇皇后両陛下ご臨席のもと、昭和56年に第1回大会が行われました。以来、毎年各地で開催されています。
ぎふ長良川大会では、「清流がつなぐ未来の海づくり」をテーマとして、
未来を担う子どもたちが主役となって森・川・海が一体となった自然環境保全の大切さをアピールします。

岐阜県北部の飛騨地方には、奥穂高岳、槍ヶ岳、乗鞍岳など標高3000メートル級の山々が連なります。一方、南部の美濃地方には、濃尾平野が広がり、木曽川、長良川、揖斐川の木曽三川が流れ、水郷地帯となっています。このように変化に富んだ岐阜の地形を、「飛騨は山の国、美濃は水の国」という意味で「飛山濃水」といいます。
豊かな森から流れ出る水は、清らかな川の流れとなって田畑を潤し、里の人々に恵みを与えるとともに、様々な生き物をはぐくみます。そして、水量豊かな川の流れとなって海へと注ぎ込みます。森から出た栄養分をいっぱいにふくんだ川の水は、海に

生息するプランクトンのエサとなり、魚たちを育てる豊かな海となります。

このように、豊かな海は、豊かな森と川なくしてできるものではないのです。「全国豊かな海づくり大会」が、海ではなく河川で行われるのは全国で初めてのことです。森・川・海が一体となった自然の水循環を、広くお伝えしていくとともに、ぜひ今大会を通して、私たちは、近年の国民的課題ともいえる環境の保全、生態系の回復に少しでも貢献できるよう、みなさまと一緒に考え実行していく1年にしていきたいと考えています。

「清流の国 ぎふ」岐阜県ならではの独創性あふれる大会に

第30回全国豊かな海づくり大会岐阜県実行委員会会長は岐阜県の古田肇知事が務め、県魚であるアユの稚魚の放流や、アユ、アマゴなど海と川を行き来する回遊魚を旗に見立てた「回遊旗」の遡上をはじめ、さまざまな普及・啓発事業が予定されています。

また、その他にも多くの自治体や団体、企業などによる全国豊かな海づくり大会協賛事業が開催されます。当館でも、平成

21年7月18日(土)～8月31日(月)には～魚の向こうに森が見える～をコンセプトに「世界の巨大淡水魚木彫展」を開催しました。また、岐阜県河川環境研究所、岐阜・美濃生態系研究会、関市、美濃市、岐阜県博物館とともに活動している「ウシモツゴを守る会」での第4回親魚交換会や、関市にある、ため池・中池の池干しを行い外来魚の駆除や清掃活動などを協賛事業として協力しました。

今後の活動としましては、夏の特別企画展「～森と水辺をつなぐ～サンショウウオ！」(平成22年6月4日～9月6日開催予定)を「全国豊かな海づくり大会」協賛事業として行います。サンショウウオは、ふだんは森の落ち葉などに隠れてひっそりと暮らしていますが、繁殖期になると水辺へと移動し産卵します。ふ化した幼生は変態までの期間を水中ですごすため、豊かな森と水辺、どちらも必要とする

清流がつなぐ未来の海づくり



全国豊かな海づくり大会協賛事業



第4回ウシモツゴ親魚交換会
平成21年4月27日(月)



世界の巨大淡水魚木彫展
平成21年7月18日(土)~8月31日(月)



企画展～森と水辺をつなぐ～サンショウウオ!
平成22年6月4日(金)~9月6日(月)開催予定

生き物です。本企画展を通じて自然環境を守ることの大切さを、ご来館いただいた皆様にお伝えできればと考えています。

■ 3F 滝壺の魚 水槽



■ 10年ぶりに行われた池干しの様子

伝統行事が復活!「中池・池干し」

平成21年11月29日(日)

中池は関市にある県内最古の農業用ため池で、その歴史は古く奈良時代の719年に建造されました。池の長さは約500メートル、幅は最大で280メートルあり、貯水量は27万7千トン、94戸の農家の田んぼに給水しています。かつて中池には山水が注ぎこみ、水は透き通り底まで見えていたそうです。池干しは地元住民らの手により数年おきに行われ、泥を流す目的のほか、コイやウナギなど貴重なタンパク源を味わう伝統行事でもありました。

しかし農家の減少と相まって、取水施設の改修工事や都市公園化が進んだ結果、中池は釣りや散歩などを楽しむ市民の憩いの場へと姿を変えてきました。そうした背景から、いつしか池干しは行われなくなりました。

放置された中池には、一部の人の手により放流されたブラックバスやブルーギルなどの外来種が多く生息するようになり、在来種がほとんどいなくなっていました。水質も悪化し池の底にはヘドロが堆積し、異臭を放つまでとなりました。

このため、地元自治会や農事改良組合らが中心となり「中池いけ干し実行委員会」を設立。再びきれいな水で米作りができるようにとの思いから、ほぼ10年ぶりに池干しを行うことになりました。

11月29日には地元農家の人々や、ウシモツゴを守る会のメンバーら約100人が集まりました。午前10時に合図の太鼓が打たれると、待ち焦がれた人々がタモを片手に池に入り、次々と魚を捕まえていました。在来種はコイやヘラブナがほんの少しだけで、その他は外来種であるブラックバス1338尾、ブルーギル4万尾以上が確認されました。これらブラックバスやブルーギルはすべて駆除されました。

今年の田植えのシーズンに合わせ、中池には水が張られ始めています。きれいな水を蓄え、在来種がすめる中池になる日はそう遠くはないでしょう。



■ 駆除された外来種



アクア・トト ぎふ スタッフ 飼育日記

■ 飼育なるほど豆知識

魚類担当 大島



アクア・トトぎふには、展示生物のそれぞれの種を解説する「種名板」をはじめ、さまざまな解説パネルが掲示されています。また、「アシカショー」や「フィーディングウォッチ」、「ポイントガイド」など、飼育スタッフが直接的に来館者に対して解説することもあります。これらすべては、来館者の皆様により深く展示生

物のことや生物を取り巻く環境について知つたための情報伝達手段です。

2008年4月より、これらの解説に加え、無料ガイドペーパー「飼育なるほど豆



知識」を設置しました。これは、館内に設置されたガイドペーパー(全10種類)を来館者が自由に持ち帰ることができるというものです。

これまでに、配布したガイドペーパーの内容は

- 展示の工夫編…展示生物を健康に飼育していくための工夫について
 - 展示生物のひみつ編…展示生物の知られざる生態について
 - 特別授業編…飼育スタッフの日々の仕事について
 - いきもののからだ編…生物の体の仕組みについて
- の4種で、どれも飼育スタッフが監修しています。既存の解説パネルなどでは伝えにくい裏話的な情報をテーマにし、来館者が家に帰つてからでも、教材となりえ

るようなものにしたいという思いから、スタートしました。

配布開始当初は、なかなか持ち帰ってはいただけず、フォルダスタンドの配置を変えてみたり、告知ポスターを追加してみたりして、認知度をアップさせるのに一苦労でした。

今では、子供から大人まで多くの方々が、「飼育なるほど豆知識」を片手に館内をご覧いただいている。現在、次回のテーマを何にしようか思案中です。



■ 第4弾いきもののからだ編

魚類担当 波多野



■ お目覚めハイギョ

今年、夏の特別展では、夏眠状態にしたハイギョを2ヶ月にわたって展示していましたが、その後ハイギョはどうなったのでしょうか？

ハイギョ(肺魚)は名前の由来にもなっているように肺(後に浮力調節に特化した浮き袋へと進化する)を使って呼吸をする魚として有名です。アフリカでは、乾季になると周囲の水が干上がってしまうため、そこにすむハイギョは泥の中にもぐつてマユを作り「夏眠」し、再び雨季が訪れるのを待つことが知られています。



■ 夏眠中のハイギョ

本来は泥の中でマユを作りますが、実験ではビニール袋を用いた(前号参照)でお腹側をひっくり返して観察することができました。空気に触れている部分は堅いマユに覆われていましたが、ビニ

ル袋に接しているお腹側は実験から3ヶ月以上経った後でも湿っており、みずみずしい状態でしっかりと水分を閉じ込めていました。また、呼吸をするためなのか、口元には小さな穴が開いていました。

夏眠状態のハイギョを元に戻すため、水槽に水を注ぎ入れ、泳ぎ出すであろうその様子を観察することにしました。想像では、すぐにマユを破り泳ぎ出すと思ったのですが…、全く反応がありません。「これはもしや…。」といやな予感が頭を過ぎりましたが、10分ほどしてハイギョがピクッと動いた時には見守っていた飼育スタッフの間に歓喜の声があがりました。その後も数分ごとに若干を



■ マユが剥がれだした

動かす程度で一気にマユを破って出でることはありませんでした。どうやらこのマユは水を通しにくい構造になっており、徐々に体が水に馴染むように少しづつ体表からはがれおちていくようです。数時間後によくやくマユが全て剥がれて3ヶ月ぶりに元のハイギョの姿が現れましたが、ハイギョはじつとしてなかなか動こうとはしませんでした。しかし、翌朝には水槽内を元気に泳いでおり、さらには、エサも食べたのには驚きました。水の中で生きる魚が、厳しいアフリカの自然を生き抜くために、長い進化の歴史の中で身に付けた力強さに感嘆させられた夏となりました。



■ 3ヶ月ぶりの姿

木曽川ワンド便り

魚類担当 国崎

今回はワンドを生活の場とする淡水棲の二枚貝についてお話しします。淡水の二枚貝というとシジミを思い浮かべる方が多いと思います。しかし、淡水域にはイシガイを代表とするイシガイ科(ドブガイ・サソノハガイ・マツカサガイなど)の二枚貝が生息しています。昔は日本各地で普通に見られましたが、今では生息場所が限られてしまい、岐阜県のレッドリストでも、そのほとんどが絶滅危惧種として掲載されています。

ワンドは、イシガイ科の数少ない生息地です。シリーズ第1回目の「木曽川ワンド便り」でも少し触れましたが、ワンドは四季の変化に応じて水位や水質が変化し、それに伴い生物相も変動します。この変化する環境こそ二枚貝が生息していく上で、とても大切な条件なのです。

大雨による増水などで河川の本流の水がワンドに流れ込むと、ワンドの水は入れ替わり、蓄積した底層のヘドロが洗い流されます。また、浸水を繰り返すワンドのまわりでは、樹木が根をはることができず、大きく成長することはありません。そのため、樹木により太陽光が遮られることなく水面に届くので、二枚貝のエサとなる植物プランクトンが十分に発生します。またイシガイ類は、稚貝の段階で魚類のヒレなどに寄生して分散移動する習性をもつため、ワンドでみられる生物の移出入は、二枚貝の生息域拡大に不可欠なのです。近年では河川改修などで洪水の頻度が減り、ワンド周囲の樹木が巨木にまで成長するため、落葉などで有機物が多量に蓄積します。そのようなヘドロ化したワンドでは、二枚貝の生息数が少なくなっていることが最近の研究でわかつてきました。移動性に乏しい二枚貝は生息場所の環境変化の影響を受けやすく、本来のワンドのシステムがうまく機能してこそ生き抜くことができるのです。

ワンドとは

河原にできた池状の入り江の事。水流が緩やかで、魚の産卵場所や稚魚のすみかとなっています。



■ ワンド



■ イシガイ幼体～成体

- さわってみよう
- 作ってみよう
- 観察してみよう
- 考えてみよう

ものづくりワークショップ

土日祝日に開催している工作教室です。内容はシーズンごとに変わります。

- おさかな浮沈子をつくろう！
10/3(土)～11/29(日)
- キャンドルを水族館つくろう！
12/5(土)～1/31(日)
- おさかな携帯ストラップをつくろう！
2/6(土)～3/28(日)

アクア・スクール

毎月行っているアクア・トト ぎふの教室。2ヶ月ごとに内容が変わります。

- 川の生きものたんけん
9/13(日)
- 川の生き物調査隊
9/27(日)
- きよだいシャボン玉をつくろう
10/11(日)、11/8(日)
- はじめての釣り体験
10/25(日)、11/22(日)
- 木の実草の実おいしい実
12/13(日)、27(日)、1/10(日)、24(日)
- 水族館ガイドツアー
2/14(日)、3/14(日)
- 魚のかいぼう
2/28(日)、3/28(日)



今月のトピックス ものづくりワークショップ

キャンドル水族館をつくろう！

2009.12.5～2010.01.31

今回は、ろうの代わりにジェルを使ったキャンドル作りです。好きな色のジェルを選んだら、はさみて細かくくださいガラスの入れ物につめましょう。まるで雪みたいにきれいなキャンドルができました！小さな陶器の魚や貝殻を飾りつけると、私だけのキャンドル水族館の完成です。

生き物自己紹介 カスミサンショウウオ

尻尾の上の
黄色い
ラインが
特徴。



名:Hynobius nebulosus
名:Clouded salamander
類:サンショウウオ目サンショウウオ科
長:7~13cm
学
英
分
全

環境学習プログラム

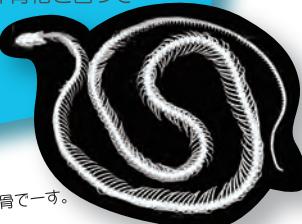
平成21年9月から平成22年3月までの活動 学習担当 圓戸

みんなの疑問を解決！！
アクア・トトしおもんばこ

Q. ヘビって骨があるんですか？

あります！ありますよー。ヘビも人間と同じように、体の中に骨を持っています。手足はありませんので、頭の骨の下に、背骨とろっ骨がすらすら並んでいます。人間やイヌ、ウシなどのほ乳類、鳥類、ヘビやトカゲなどの爬虫類、カエルやイモリなどの両生類、魚類は、内骨格といつて、体の中に骨を持っています。ちなみに力ニヤエビ、昆虫などは外骨格と言って体の外側に硬い殻を持っています。もちろんタコやイカ、ミミズなどのように硬い骨や殻をもたない動物もたくさんいます。

シマヘビの骨でーす。



こんにちは！ぼくはカスミサンショウウオです。

あ、オオサンショウウオとは違う種類で、もっと小さい10cmくらいの生き物です。普段は山の中の、落ち葉の下なんかにいるんだ。だから、とっても見つかりにくいんです。お隣の水槽のコガタブチサンショウウオくんたちによく似てるでしょ。ぼくらサンショウウオの仲間は、日本に10数種類いるけど、みんな似ていて専門家でも見分けられなかつたりするんだよ。エサは小さな虫。アクア・トトではコオロギをもらってるんだ。飼育スタッフの人が1匹ずつ、ピンセットで口に入ってくれるんだよ。「はい、あーん」てね。午前中水族館に来てくれたら、お食事シーンが見られるかもしれないよー。



企画展レポート

企画展

まもりたい地球の仲間たち ～レッドデータぜつめつきぐって～

【開催期間】平成21年10月2日[金]～12月13日[日]



地球上に存在するすべての生き物は、生命の誕生以来、約40億年におよぶ進化の過程で多様に分化し、相互関係を築きながら暮らしてきました。しかし、その多様な生き物を取り巻く環境は、人間の社会活動の影響を受け変化し、今や多くの生き物が絶滅の危機にさらされています。そこで、レッドリスト、レッドデータブックを中心に、生き物の多様性や種の保存について解説しました。



■ヤマセミ



企画展

魚のかたち くらしかたたち

【開催期間】平成21年12月18日[金]～22年3月15日[月]

魚のすむ環境は、川、池、海など様々です。その中のぞいてみると、流れの速いところ、ゆるやかなところ、砂地のところ、岩場のところ、泥のところなどがあり、それぞれの魚が、それぞれの環境に適応していて、実に理にかなった形をしています。魚の形をヒントに、くらしを想像し、そこにかくされた生きるための工夫を紹介しました。



企画展

甲殻生物隊～淡水のエビ・カニたち～

【開催期間】平成22年3月19日[金]～5月31日[月]

日本人はエビやカニが大好きな国民です。一人あたりのエビ消費量は世界一と言われています。また、昔話「さるカニ合戦」や、

宮沢賢治の童話「やまなし」では川に棲むカニが主人公となっており、淡水のカニが人間にとて身近な存在であったといえます。そこで今回の企画展では、川や湖沼にすむエビ、カニを取り上げました。普段はあまり目にすることのない行動や形態、外来種の問題などさまざまな側面からエビ・カニの魅力にせまりました。



■サワガニ

■オニナガエビ

特別展示

第2回アクア・トト ぎふ「こども・いきもの学会」

【開催期間】平成21年12月18日[金]～平成22年2月14日[日]

児童、生徒の皆さんによる身近な自然の環境調査についてのポスター発表を行いました。2回目である今回は、小学校4校、中学校1校、高校1校の参加があり、中には生徒と先生が来館されて、口頭発表をしてくださったところもありました。



参加校

郡上市立大中小学校4年生の皆さん	「田んぼの仲間学習発表会」
岐阜市立岐阜小学校5年生の皆さん	「長良川の環境を考えよう」
岐阜市立鷺山小学校5年生の皆さん	「森林とわたし達の鷺山」
岐阜市立網代小学校4年1組の皆さん	「みさんはハクビシンを知っていますか」 「網代の生き物を守るために」
閔市立下有知中学校2年生の皆さん	「身近な環境から学ぼう」
岐阜県立大垣東高等学校	「絶滅危惧種ハリヨの観察と生息地の環境保全を考える」
理科1年5組の皆さん	

どの学校も身近な自然環境についてまとめられており、各地域の特色がよく現れた内容となっていました。皆さんから発せられるメッセージにはとても考えさせられ、多くの来館者の方々にも今一度、地域の自然環境を見つめなおして頂く機会になったのではないかでしょうか。今回参加して頂いた皆さんが大人になっても、今回発表したようなメッセージの中にある心優しい気持ちを忘れずにいて欲しいと心から思います。



■トランスルーセントグラスキャット



マヌスリー水槽

珍しい生き物やテーマにちなんだ生き物を月ごとに紹介しています。

10月 大運動会!!

1月 新年あけましておめでタイガー

11月 11月22日はいい夫婦の日

2月 氷(こおり)や～透明だ!

12月 いろんなサンタ大集合!

3月 今日は何の日?

INFORMATION

主な出来事

[平成21年10月1日～平成22年3月31日]

展示 企画展 イベント その他

10/1～31 マンスリー水槽「大運動会!!」

10/2～12/13 企画展「まわりたい地域の仲間たちレッダーデザインつきくつ～」

10/3～11/29 ものづくりWS「浮沈子をつくろう」

10/10～12 トトの日イベント「トト・フィッシングをしよう!」

11/1～30 マンスリー水槽「11月22日はいい夫婦の日」

11/14～12/27 クリスマス特別水槽「デンキウナギでクリスマスツリー!?」

岐阜県美術館にて移動水族館

平成21年11月21日[土]～23日[祝]

岐阜県美術館開催の企画

展では、淡水魚や水辺を描いた作品を紹介しており、当館も移動水族館として参加しました。オイカワやタナゴの仲間などの淡水魚のほか、サワガニなどのくらしの様子を展示しました。23日(祝)には作家の神戸智行氏と当館の学芸員によるトワイイベントも行われました。



11/29 一日館長

11/28～12/27 クリスマス特別企画「クリスマスタンブラー」

12/5 年パス・リマガ会員様特別イベント「まつぼっくりでツリーをつくろう」

12/1～31 マンスリー水槽「いろんなサンタ大集合」

12/1～27 クリスマス特別企画「ガチャポン金魚でクリスマスツリー」

12/5～1/31 ものづくりWS「キャンドル水族館をつくろう！」

12/18～3/15 企画展「魚のかたちくらしかたち」

12/18～2/14 特別展示「第2回アクア・トトぎふこども・いきもの学会」

12/19～1/31 お正月特別水槽「2010開運金魚」

12/19～3/31 個人サポーター新規入会キャンペーン

冬の年パスキャンペーン

平成21年12月19日[土]～平成22年3月31日[水]

とってもお得な年パスキャンペーン！期間中に年パス会員様とご一緒にお越しの方は、入館料が半額になったり、購入時にはボーナス期間がついたり、各種割引などもあり多くのお客様にご利用いただきました。



お正月イベント開催

平成22年1月1日[祝]～11日[祝]

毎年恒例のアクア・トト ぎふお正月イベントを開催しました。「トトおみくじ」のほか、3日(日)には「水族館でおもちつき」や「花もちづくり」を行いました。また、特設のおさかな広場では、オリジナルの「おさかなふくわらい」や「サツキマスすごろく」、「トトカルタ」なども開催し、家族連れの方に楽しんでいただきました。



1/1～31 マンスリー水槽「新年あけましておめでタイガー！」

1/1～ ガイドペーパー飼育なるほど豆知識－いきものからだ編－配布開始

バレンタイン特別企画「あなたのハートも狙い撃ち/?」

平成22年1月23日[土]～2月14日[日]

テツポウウオのフィーティングウォッチでは、バレンタイン特別企画として、的をハート型に変えて行いました。今年は「恋愛成就くす玉」も登場し、カップルや家族連れに人気がありました。



2/1～28 マンスリー水槽「氷（こおり）や透明だ！」

2/6～3/28 ものづくりWS「お魚ストラップをつくろう！」

第2回社団法人日本動物園水族館協会 中部ブロック大会

平成22年2月1日[月]、2日[火]

「平成21年度第2回社団法人日本動物園水族館協会中部ブロック園長会議」がアクア・トトぎふで行われました。中部ブロック各施設の園長の皆様が、さまざまな議題について活発に意見をかわされました。アクア・トト ぎふでの同会議は今回初めてでしたが、多くの皆様にご参加いただきました。



第7回メコンオオナマズ学術調査委員会

平成22年2月19日[金]、20日[土]



今年で7回目となった「メコンオオナマズ学術調査委員会」は、あらたに京都大学大学院情報学研究科准教授 荒井 修亮先生、名古屋大学大学院生命農学研究科教授 宗宮 弘明先生、長崎ペンギン水族館 飼育展示課 末吉 摩耶子氏をお迎えしての開催となりました。当館学芸員の池谷からは、これまでの飼育経過とメコンオオナマズの発音について発表を行い、続いて末吉氏より、「長崎ペンギン博物館でのメコンオオナマズの発音について」を発表していただきました。今回は、メコンオオナマズの発音について、両館での音を比較し、推察される発音器官や発音機能について話し合われました。今後は現地の研究者と連携し、これまでの飼育下での知見を保全活動に活かせるよう情報発信していくことになりました。

2/6～14 岐阜県民優待キャンペーン

3/1～31 マンスリー水槽「今日はなんの日?～3月の記念日編～」

3/19～5/31 企画展「甲殻生物隊～淡水のエビ・カニたち～」

3/20～5/9 第6回春の写生大会

携帯サイト・メールマガジンのご案内

水族館のイベントのご案内、飼育日記、各種プログラムのご案内等の情報を、メールで定期的に送付しています。登録手順は下記の通りです。ぜひご利用ください。

アクア・トト ぎふホームページにアクセス
<http://aquatotto.com>

メールマガジンの登録は
「Web会員募集中!!」バナーをクリック
順序に従ってWeb会員に登録

「メールマガジン」をクリック
順序に従ってメールマガジン会員登録

携帯サイトへのアクセスは

携帯用QRコードを読みとりアクセス！！

<http://aquatotto.com/k>

を直接入力して、アクセス！！





東海北陸自動車道

「川島PA・ハイウェイオアシス」よりすぐ、「一宮木曽川 IC」出口から車で約10分、「岐阜各務原 IC」出口から車で約10分。一般道からもお越しいただけます。駐車場無料。

鉄道・バス

JR「岐阜駅」・名鉄「名鉄岐阜駅」より岐阜バス川島松倉行き「川島笠田」停下車徒歩約15分(土日祝は「河川環境楽園」停まで乗り入れる便もあります)、JR「那加駅」・名鉄「新那加駅」から、「かかみがはらふれあいバス」利用、名鉄「笠松駅」下車タクシー利用、など。

※公共交通機関ご利用の場合は、事前にお時間等ご照合ください。

入館料金（税込）

区分	個人		一般団体 20人以上	区分	学校団体	
	1回券	年間パスポート			大 学 生	1,000円
大人	1,400円	2,800円	1,120円	高 校 生	850円	
中学生・高校生	1,100円	2,200円	900円	中 学 生	520円	
小 学 生	750円	1,500円	600円	小 学 生	420円	
幼児(3歳以上)	370円	740円	300円	保育園・幼稚園児	260円	
				園児付添保護者	1,000円	

※障がい者手帳(添付者1名を含む)をお持ちの方は、個人1回券がそれぞれ半額となります。

※65歳以上で年齢を証明するものをお持ちの方は、個人1回券が1,260円となります。

※年間パスポートの有効期間は、発行日から1年間となります。

開館時間 午前9時30分～午後6時まで(最終入館は午後5時)

休館日 無休 ※ただし、臨時休館させていただく場合がございます。
詳しくは水族館までお問い合わせください。

 **アクア・トト ぎふ**
岐阜県世界淡水魚園水族館

〒501-6021 岐阜県各務原市川島笠田町1453 河川環境楽園内
TEL 0586-89-8200 FAX 0586-89-8201

<http://aquatotto.com>